

10/19
五福

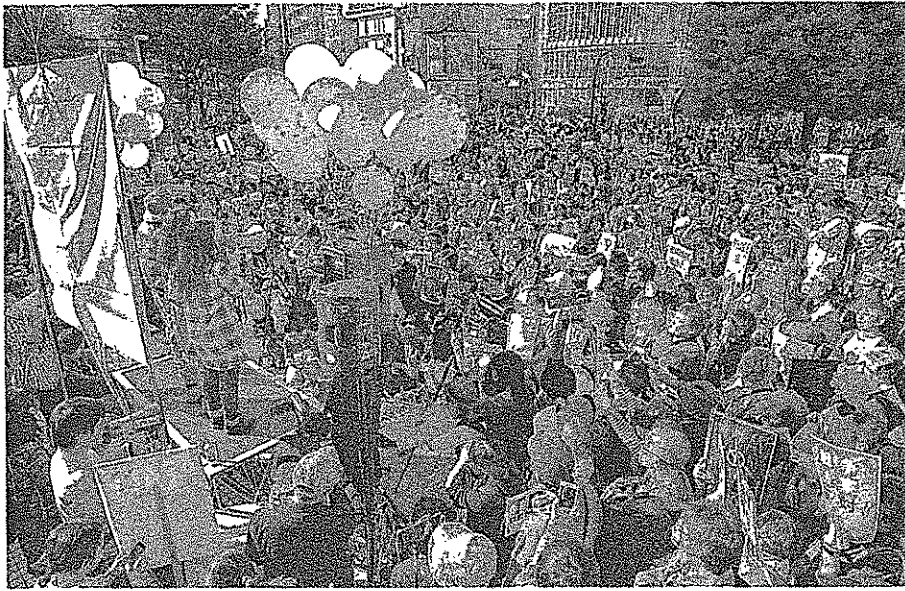
「戦争法反対」行動続ける

安保法制

シールズが渋谷街宣

東京・渋谷駅八チ公前で18日、SEALDs(シールズ)自由と民主主義のための学生緊急行動)が「安保法制に反対する渋谷街宣」を行いました。日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の5野党国会議員があいさつ。議員たちが壇上へ手を取り合うと、聴衆から「野党は共闘」のコールが沸き起り、熱気に包まれました。

★関連の16面



SEALDsの街頭宣伝でコールする人々18日、東京・渋谷駅前

「野党は共闘」コール 5党が参加

「今日まで野党5党が肩を並べるとはスタンダードになっていて、国民もそれを望んでいる。日本の政治は前進していると感じる。野党の共闘を後押ししましょう。僕は立ち止まらず行動し続けます」と学生が訴え、通行人に「政治にかかわることはクールだと、僕らの世代で広げましょう。投票に行きましょう。いろんな世代で安保法制は無効だと広め続けましょう」とアピールしました。聴衆は時間を追うごとに膨らみ、八チ公前はぎっしりと人で埋まりました。スティーブと聴衆が一体で「戦争法絶対反対」「言うことはなんとしても野党で結集して、参院選挙がんばります。スペシャルゲストにラップグループのスタチャラーパーが登場し、「民主主義って何だ」とコールして注目を集めました。

大学生・高校生5人と、元経済産業省の古賀茂明さんがスピーチ。シールズ関西の齋藤凛さんは「犠牲の上に得た日本国憲法を、まだ完全に達成したとはいえないその理念を、あきらめることができません」と訴え。

高校生のゆーきさんは「強行採決のときの怒りは少しも消えていません。疑問を持つ国民は、弱まるどころか広がっている。これから日本が本場の意味で変わっていくと話しました。野党5党から6人があいさつ。日本共産党の小池晃副委員長は「6月27日、同じように渋谷で街宣したとき、野党を手をつなぐのは少しぎこちなかった。でもいまは自然です。新しい民主主義が始まっている。戦争法廃止、安倍政権退陣。一緒にやりましょう」と訴え、国民連合政府の提案を紹介しました。

二一衆院議員があいさつしました。「シールズの活動に共感するところがあったので参加しました。野党が協力して受け取った枚口湧太さん、たたかってほしい」と話しました。埼玉県川口市は、

「政治変えるのは僕ら」

大阪で若者憲法集会



「憲法を守れ 憲法生かせ」と唱和するデモ参加者=18日、大阪市

戦争法の強行成立から約1カ月となる18日、憲法や民主主義・立憲主義を学び、声を上げ続ける方にしようとして、大阪若者憲法集会が大坂市で行われ、250人が参加しました。主催は、民主主義青年学生部、青年協議会など5団体でつくる実行委員会。

参院特別委で戦争法を「廃案」と意見陳述した、弁護士の伊藤真さん(伊藤塾塾長)が講演。「国は国民一人ひとりが主体的につくり上げるもの。憲法は、めざす国の形の設計図であり、私たち国民が政府に守らせるものだ」と述べました。

6人の青年がリレートーク。「デモは嫌いだ」という速水大地さん(28)は「やむにやまれず国会前にも行った。政治を変えるのは政治家でなく、一人ひとりが考え行動することだ」と語りました。

実行委員会の川添健真事務局長は、大阪府知事・大阪市長ダブル選挙(11月22日投票)を控えて「住民の声を無視し生活を壊してきた維新政治を、民主主義の広い視点から見ると、大阪の未来を考える機会にもしたい」と話しました。

わたなべ結・日本共産党参院大阪選挙区候補が参加。集会後、参加者は御堂筋をデモ行進しました。

はつらつ 若者の熱気

1/19
未読

「自分も何かしたい」 足止め「よいことを言ってる」

「野党は共闘」集団
「野党は共闘」集団
的自衛権は「ない」
の声を東京・渋谷駅前
を包んだ18日のSEA
LDsのシールズ街宣
行動。シールズすげえ
な「あれがうわさ
な」「すごく良いこ
め渋谷に来たといま

と「言ってるね」と足を
止める若者が後を絶ち
ませんでした。
戦争法廃止を訴える
「憲法違反の法律です
よね」と語りました。
スマートフォンで写
真を撮っていた中国出
身のナイカさん(29)
「向世田谷区」は「安
保法制の廃止を訴え、
(日本が)戦争に進も
うとするのを阻止する
若者を育て、感動しま
した」と語を弾ませ、
北東アジアの平和を願
望しました。
同八王子市の中学3
年の男子生徒は、ニユ
ースでシールズを知
り、初めて駆けつけた
といいます。「大好きな

シールズの渋谷街宣



戦争法反対の「シールズ」の渋谷駅前

芸術で「戦争反対」

芸大、多摩美、武蔵美有志

SEA LDsのシールズ人デモに参加していま
しが18日に行った安保法 たが、大学内では政治的話
制に反対する東京・渋谷駅 ができる。ツイッターなど
ハチ公前の街頭宣伝に、色 で同じ大学で声をあげてい
どりののぼり旗が並び、 人を採りました」と会結
ました。東京芸術大学、多 成までの経緯を話しまし
摩美術大学、武蔵野美術大 た。一緒に参加した別の女
学でアートにかかわる教職 性(22)「4年生は「フ
員と学生たちの有志の会が ラカートのデザインをし
合同で参加しました。 んです。安保法制につい
芸大出身の佐藤昌三さん て迷っている人も会に参
「クラフティックデザイン」 加してほしい」と思いを語
は「自由と平和のための東 りました。
京芸術大学有志の会」の紹 介の表紙をデザイン
しました。ピアノの鍵盤を 志の原田浩さん(非常勤
押さえるシーンです。自 調師、アニメーター)は、
由のためのセッションを始 加する学生がいるのに、学
めようという思いを込めま 内では安保法制の議論がない
した」と強調しました。 ことやるせない思いで
「政治を考える多摩美術 いた。教員も声をあげないと
4年生の女性(23)は、「二

ピラを配っていたのは 権交代してほしい」と
都内の高校1年生、う 強調します。「安倍さ
らさん(16)。「政治 んは、オリンピックな
にあまり興味を持って らで盛り上がる間に國
いない友人にも、さり 民が怒れることを期待
げなサブローチして しているんじゃないか
います」 ないと述べました。
日本共産党の提案す る国民連合政府に期待
を寄せる声も相次ぎま した。
偶然通りかかったと いう大学生の高橋礼
「たなす」さん(21) 義がすたれてしまっ
「安倍政権に対しNGを 出するために野党が協力
して一つにまとまるこ 切に落ちてきたはずも
自分も何かしたいと思 っただ」と話しました。
「なんとかこの状況 を変えたい」と道行く
人に懸命にシールズの

「次の選挙は安倍政 権を通さないための大 切な選挙」というのは
丸毛優(まるも よし) さん(39)「東京
都板橋区」。「シールズ
のデモに賛成され、
政治に関心をもって勉 強するようになりまし
た。次の選挙に向けて
自分も何かしたい」

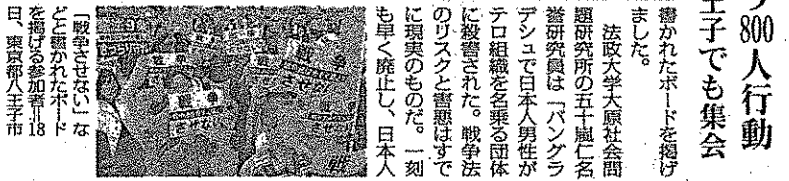
「戦争法をなくす私の一 歩」
ファクス・メール箱開設
「戦争法を何としてもやめさせる」、「私、私
たちはこんなことをしています」の情報をお寄
せください。表題に「戦争法をなくす私の一
歩」と書き、住所、氏名、電話番号を明記して
ください。ピラや紙面のコピーがあれば送って
ください。
ファクス 03 (3225) 1434
Eメール: hensyukoe@jcp.or.jp

戦争法問う800人行動

東京・八王子でも集会



戦争法(安保法制) の廃止に向けて18日、
東京西部の八王子市に があるJR八王子駅前
抗議行動「NO. W A R!
R! 八王子アクション」 が実施されまし
た。主催者発表で約8 00人が参加。人通り
の多い日曜の駅前前 「民主主義って何だ」
などのコールを繰り返 しました。日本共産党
のほか、民主翼、社民 党、生活者ネットなど
の市議会議員も参加し ました。
市民団体や政党、個 人が参加する「戦争
をさせない八王子市民 集会」実行委員会」が
主催。参加者は宣伝カ ーの周りで「憲法9条
きっちり守れ」などと



「戦争法をなくす私の一 歩」
ファクス・メール箱開設
「戦争法を何としてもやめさせる」、「私、私
たちはこんなことをしています」の情報をお寄
せください。表題に「戦争法をなくす私の一
歩」と書き、住所、氏名、電話番号を明記して
ください。ピラや紙面のコピーがあれば送って
ください。
ファクス 03 (3225) 1434
Eメール: hensyukoe@jcp.or.jp

の安全を守れ」と語り
ました。
医療分野で働く市内
の20代女性もマイクを
握り、「無関心をやめ
よう。誰かがかえてく
れるのを無責任に持つ
のをやめよう。戦争法
の中身が現実になった
時、自分が何を失った
かを考えることを、私
はやめない」と宣言し
ました。
同実行委は国会での
戦争法案の審議中も八
王子駅前抗議行動を
繰り返したほか、国会
前にも参加者多数が連
日のほりを持って駆け
付けました。今回の集
会実施は、法案採決の
強行後は初めてです。
実行委は19日に国会
前で行われる「戦争さ
せなない」9条壇すな
い総がかり行動」にも参
加するよう周りに呼び
かけました。

ここから日本を変える

10/19
五旗

スチャパールのラッパに盛り上がる参加者たち18日、東京・渋谷駅前



シールズ渋谷街宣での大学生・高校生スピーチ

18日、SEALDs（シールズ）自由と民主主義のための学生緊急行動）が呼びかけ、「野党は共闘」コールが東京・渋谷の街に響き渡った。安保法制に反対する渋谷街宣。マイクを握り訴えた大学生、高校生のスピーチ要旨を紹介します。

身近な人と政治の話

大学4年生 元山仁士郎さん(23)



日本の政治がどこに進もうとしているのか、どうなってしまうのか、不安でここに立ってしまっています。安保法制は成立してしまいましたが、みなさんまだ（あの怒りを）忘れてないですよ。これからは私たちが一人ひとりで、生活を脅かさないために政治を語りましょう。政治の話、身近な人と話していきましょう。未来を見据えてねばり強くやっていけば、必ず成果が出ます。頑張ってください。

表現の自由発信しよう

東京芸術大学1年生 haruさん(20)

昨日は渋谷にフラッシュモーションを見に来ました。もうフラッシュモーションや政治を語る人を分ける時代ではありません。私が初めて街頭宣伝を見たのは6月でした。ニュースを見てただけではいても立ってもしらねた。戦争の先にはいいことばなにもありません。戦争は自国だけで起るものではないからこそ、私たちは広い目で世界の動きを捉えたいです。

学校でデモが話題に

高校3年生 りゅーきさん(18)

国会前抗議が落ち着いた後、学校で「またデモがあったら行こうかな」と言ってくれた人がいました。これは少し前にはなかったことです。強行採決後も、抗議の声は広がっています。僕も含めて、政治について一人ひとりが学び始めています。自分で考える精いっぱいのことを伝えていきます。

憲法の理念諦めない

シールズ関西・大学2年生 齊藤凜さん(19)



安倍首相にとっては、武力を持って世界中の競争に加盟することできる社会が理想の社会なのかもしれません。そんな社会を、憲法を壊して議会のルールも無視して自分だけが強者に達成させること歴史に名前を残したいのかもしれない。70年間かけて名前の残ることのない人々が平和で自由で民主を、諦めることができません。この腐敗した政治を見つめ、理想を掲げることが求められないし、命ある限り理想の実現に前進する努力を諦めません。

希望ある社会を実現

大学4年生 小林叶さん(21)



戦後70年の歴史を変える法律が先月、可決されました。しかし、そんな社会には毎日生きることに精一杯の人間を救うこともできない、希望を与えることもできない、そんな国のことを私たちがどうして信じていることができますか。私たちが求めているのは、温かいご飯であり、進んで無事に迎えることができ一人親でも子どももめくくり向き合える時間です。私が思い描くのは、誰もが生きていくことができた社会です。

戦後100年へ努力続ける

大学4年生 福田和香子さん(21)



2年前のこの時期、私は秘密保護法に反対する意を示すため、初めて路上に立ちました。安保法の成立後、何が変わったのかと何度も聞かれました。私が声を上げた人々や仲間が社会を大きく変えられるなら、世に何を残したいのかを問われます。私は30年後、戦後100年が当たり前のようであることを望みます。そのため努力を続けていくことをここに誓います。